

めぐろブランド「花再彩」事業（不用園芸土の回収と再生）

施策のポイント

廃棄物処理法上、廃棄物に該当しない不用園芸土を再生を目的に回収し、再生した園芸土を区民に還元する。また、再生にあたっては、区立公園の剪定枝葉から作った堆肥を使用し、区内での循環を目指している。

自治体情報

東京都目黒区

人口 / 253,557人

標準財政規模 / 70,209,865千円

担当課 環境清掃部清掃リサイクル課

電話番号 直通 03-5722-9883 代表 03-3715-1111 内線 3822

実施主体 目黒区

関連ホームページ

事業期間 平成 22 年度から

参考とした施策 東京都武蔵野市「家庭から出される廃食用油・土の回収

関係施策分類

施策の概要

1 取組に至る背景・目的

家庭で不用となった園芸土は法上廃棄物に該当しないため、清掃事務所では収集していない。一方、集合住宅居住者など自宅で処分できない区民は、ごみに混ぜて排出するなど、不適正な処理をしていると考えられる。家庭で不用になった園芸土を回収し、区立公園の剪定枝葉から作った堆肥を加えて園芸土として再生することでごみの適正処理及びごみの減量を推進する。また、区内で再生された園芸土を提供することで、循環型社会の実現を目指し、まちの緑化の一助とする。

2 取り組みの具体的内容

- ・ 植替え時期等に、区内の公園等を会場として、区民が不用となった園芸土を持ち込むことで回収する。
- ・ 希望者には、前回回収した不用園芸土から再生した園芸土を提供する。
- ・ 回収した不用園芸土は、混入している異物や枯れた根を除去したあと、天日干しで滅菌し、区立公園の剪定枝葉から作った堆肥を追加して園芸土に再生する。

3 施策の開始前に想定した効果、数値目標など

ごみに混ぜて排出したり、公園の植込みへ投棄するなど不適正に処理される量を減少させることを目指している。

まだ、試験的な事業であり、回収量は 4 t を見込んでいる。

4 現在までの実績・成果

試験的事业として、平成 21 年 11 月 7 日及び 8 日の 2 日間目黒区消費生活展で実施し、参加人数 107 人、計 2 m³ (約 1.5 t) の不用園芸土の持ち込みがあった。

5 導入・実施にあたり工夫した点や苦労した点とその対処法・解決策など

使用済み園芸土をそのまま持ち込まれた場合、プラスチック廃棄物や枯れた根、腐敗物などが混入しており、これらをどの時点で誰が取り除くか。また、雑菌、雑草の種などの殺菌処理をどう行うかが、再生園芸土として使用するうえでの課題であった。

区立公園の剪定枝葉から堆肥を作っている専門業者の技術を利用し、夾雑物の除去及び殺菌処理を可能とした。

6 今後の展開と課題

平成 22 年度は引き続き試験的事業を実施する。実施結果から、今後の実施方法や頻度などについて検討する。

不用園芸土の回収と再生

- 現状**
家庭で不用となった園芸土は、廃棄物処理法上は原則として廃棄物に該当しないため、清掃事務所では収集していません。このため、ごみに混ぜて排出したり公園の植込みへ投棄したり、不適正な処理が目立っています。
- 目的**
家庭で不用となった園芸土を回収し、区立公園の剪定枝葉から作った堆肥を加えて園芸土として再生し、区民に還元する仕組みをつくることで、ごみの適正処理とごみの減量を推進し、まちの緑化の一助とします。
- 概要**
 - 春の植替え時期（5月16日）に、区内の公園など4か所を会場にして、不用園芸土の回収と再生利用を実施します。
 - 区民が不用となった園芸土を各会場まで持ち込み、交換に、昨年回収した不用園芸土から再生した園芸土を持ち帰ることで、区内で循環する仕組みを構築します。
 - 区民が持ち込んだ不用園芸土は、混入している異物や枯れた根を除去したあと、天日干しで滅菌し、区立公園の剪定枝葉から作った堆肥を追加して園芸土に再生します（この作業は造園業者に委託します）。この再生園芸土は次回の回収・交換時に利用します。
- 予算額**
不用園芸土の回収と再生処理に係る業務委託（回収と交換、選別、残渣（ざんさ）処分、保管、天日干しによる殺菌殺菌、堆肥の追加による再生） 1式 458千円

【イメージ】

【不用園芸土の回収風景】

【園芸土の再生作業】

天日干しで滅菌しながら、堆肥（黒い山の部分）を加えて再生します。

予算関連データ

総額 ①～⑤の計		財源内訳（財源区分：①～⑤）				
		①国費	②県費	③起債	④その他	⑤一般財源
H22：458千円		0千円	0千円	0千円	0千円	458千円
①～④の名称、 所管など	名称					/
	所管					
	金額					
	補助率					

提供可能資料：施策の概要